

みえ森と緑の県民税制度運営事業

1. 事業の目的

この事業は、みえ森と緑の県民税制度が円滑に運営されるよう、県民への周知や評価委員会の設置・運営等を行うものです。

2. 令和5年度事業の実績

1) みえ森と緑の県民税評価委員会の運営

令和5年4月に第1回評価委員会、7月に第2回評価委員会、8月に第3回評価委員会、令和6年2月に第4回評価委員会を開催しました。

令和5年8月29日には、森緑評第18号により、みえ森と緑の県民税条例の施行の状況について、森緑評第19号により、令和4年度みえ森と緑の県民税基金事業の実施後の評価・提言について、答申を受けました。

1-1) 委員の任命

令和4年10月1日から令和6年9月30日の2年間を任期として、次の10名を委員に任命しています。

みえ森と緑の県民税評価委員会委員

委員氏名	所属団体等	分野
池山 敦	皇學館大学教育開発センター 准教授	学識経験者
石川 知明	元三重大学大学院生物資源学研究科 教授	学識経験者
井野 和正	三重県商工会連合会事務局長	商工
木村 京子	三重県環境学習情報センター長	環境学習
谷川 東子	名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授	学識経験者
橋本 直行	三重県生活協同組合連合会事務局長	消費者
林 拙郎	三重大学名誉教授	学識経験者
三田 泰雅	四日市大学総合政策学部 教授	学識経験者
三輪 敏哉	三重県小中学校長会副会長（東員町立東員第二中学校）	教育
森下 ゆう子	有限会社森下林業	林業

五十音順・敬称略 令和6年5月31日現在

1-2) 評価委員会概要

【第1回みえ森と緑の県民税評価委員会】

- 1 日時 令和5年4月11日(火) 9時30分から11時00分
- 2 場所 三重県勤労者福祉会館 6階 講堂
- 3 出席委員 9名(うち、3名がオンライン参加)
- 4 議事
 - (1) みえ森と緑の県民税評価委員会への諮問について
 - (2) みえ森と緑の県民税条例の施行の状況についての検討
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 9名(全員オンライン参加)

【第2回みえ森と緑の県民税評価委員会】

- 1 日時 令和5年7月18日(火) 13時30分から16時00分
- 2 場所 三重県勤労者福祉会館 6階 講堂
- 3 出席委員 9名(うち、3名がオンライン参加)
- 4 議事
 - (1) みえ森と緑の県民税条例の施行の状況についての検討
 - (2) 令和4年度みえ森と緑の県民税基金事業の実績
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 19名(うち、12名がオンライン参加)

【第3回みえ森と緑の県民税評価委員会】

- 1 日時 令和5年8月29日(火) 13時30分から16時20分
- 2 場所 三重県勤労者福祉会館 6階 講堂
- 3 出席委員 9名(うち、3名がオンライン参加)
- 4 議事
 - (1) みえ森と緑の県民税条例の施行の状況についての検討
 - (2) 令和4年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 16名(うち、13名がオンライン参加)

【第4回みえ森と緑の県民税評価委員会】

- 1 日時 令和6年2月13日(火) 13時30分から15時10分
- 2 場所 アスト津 4階 会議室1
- 3 出席委員 9名(うち、3名がオンライン参加)

4 議事

(1) みえ森と緑の県民税評価委員会への諮問

5 会議の公開・非公開 公開

6 傍聴者 15名（全員がオンライン参加）

2) みえ森と緑の県民税の普及啓発

令和6年度は、みえ森と緑の県民税第3期の開始とともに、国の森林環境税の徴税が開始されることをふまえ、令和5年度下半期を普及啓発の強化期間として位置づけ、さまざまな媒体を活用した取組を展開しました。

2-1) 啓発物品による広報

みえ森と緑の県民税について紹介するチラシ及びリーフレットについて、森林環境譲与税との棲み分けに関する説明を加えるなど、分かりやすいものにリニューアルしました。こうしたさまざまな啓発物品を活用して、みえ森と緑の県民税の必要性和活用事例について、広く県民に知っていただくための広報活動を行いました。

【普及啓発実績】

時期	内容
4月5日～4月30日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
5月1日～5月31日	県内のイソ(20店舗)でのチラシ配架
6月1日～6月30日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
	県内のイソ(20店舗)でのチラシ配架
6月1日～10月31日	県庁1階県民ホールでのデジタル広告案内
7月1日～7月31日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
8月1日～8月31日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
9月1日～9月30日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
10月1日～10月31日	県内のイソ(20店舗)でのチラシ配架
	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
11月1日～11月30日	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
12月1日～12月31日	県内のイソ(20店舗)でのポスター掲示
	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
1月1日～1月31日	県内のローソ(148店舗)でのチラシ配架
	県庁1階県民ホールでのチラシ配架
2月1日～2月29日	県内のマックスバリュ(11店舗)でのチラシ配架

	県庁 1 階県民ホールでのチラシ配架
3 月 1 日～ 3 月 31 日	県内のイソ（20 店舗）でのチラシ配架
	県庁 1 階県民ホールでのチラシ配架

2 - 2) 事業成果の広報

① みえ森と緑の県民税令和 4 年度成果発表会の開催

事業実施担当者が、事業成果を直接県民に報告するとともに、市町間の情報共有を図り、市町交付金事業実施の一助とするため、事業成果発表会をオンラインで開催しました。

- 1 日時 令和 5 年 10 月 31 日（火）13 時 30 分から 16 時 30 分
- 2 場所 Zoom によるオンライン開催
- 3 発表内容 県事業 4 事業と 5 市町の事業成果発表
- 4 参加者数 91 人（評価委員、県職員、市町職員、関係団体、一般）
- 5 アンケート結果

Q. この発表会は、満足のいくものでしたか。

1. 満足 4 件（13%） 2. 概ね満足 18 件（60%）
3. あまり満足でない 7 件（23%） 4. 満足でない 1 件（3%）

Q. 自由意見等

- ・他地域の事業内容が共有でき、私たちの地域でも活用できそうだと感じた。
- ・市町交付金事業については「優良事例発表会」が望ましい。

② みえ森と緑の県民税令和 4 年度事業成果報告書の作成

令和 4 年度事業成果を総括し、詳細に報告するため、みえ森と緑の県民税令和 4 年度事業成果報告書を作成・配布しました。

2 - 3) さまざまな媒体を活用した広報

① FM 三重オリジナル啓発番組放送

番組名：みえ森と緑の探検隊！

放送期間：令和 5 年 7 月 21 日（金）～10 月 13 日（金） 全 13 回

放送枠：毎週金曜 16：30～16：40（10 分番組）

内容：「みえ森と緑の県民税」を活用した事業と関連する施設や人々を取材して放送し、税を活用した取組や成果を PR

番組ホームページを制作し、放送回を2月末まで聴取可能



番組ホームページ

放送日	取材者	内容
7月21日	みどり共生推進課 技師 上村 岳斗	みえ森と緑の県民税とは？
7月28日	津市農林水産部林業振興室 清水 宏幸さん	親子で学ぶ森と緑（夏休み 森と緑の親子塾）
8月4日	朝日町役場産業建設課 吉 田 壮汰さん	PEEK-A-BAMBOO！あさひ 竹プロジェクト！
8月11日	みえ森づくりサポートセン ター 北野センター長	森のせんせいってどんな 人？
8月18日	尾鷲市役所 水産農林課 市 有林係 岩屋 仁志さん	教えて！尾鷲市の県民税事 情！
8月25日	中部電力パワーグリッド 配電建設グループ 佐野 真 也さん	電線近くにある木の整備事 業
9月1日	三重県民の森 川瀬 裕之所 長	教えて！三重県民の森の楽 しいイベント！
9月8日	伊勢市役所 農林水産課 竹内 来聖さん ふたみ保育園 中島 純子園 長	教えて！伊勢市の県民税事 情！（県産材を使用した保 育物品導入による森林教 育・木育）
9月15日	御浜小学校 矢賀 睦都恵校 長	森林公園における小学校の 森林教育！
9月22日	県立伊賀白鳳高校 工芸部 顧問 平野 太一さん 工芸部の生徒	高校生が取り組む『森のや すらぎ整備事業』！

9月29日	四日市メリノール学園（一般社団法人ネクストステップ研究会 代表 寺田 卓二さん）	学校周辺の里山保全
10月6日	松阪飯南森林組合 石川智章さん	災害緩衝林整備について
10月13日	森林・林業経営課 主任 中西 将大 アカデミー運営課 副参事 兼課長 北出 満	「みえ森と緑の県民税」と「森林環境譲与税」の使い分けについて

②中日新聞記事広告

掲載日：令和5年10月14日（土）

紙面体裁：カラー15段（記事8段＋広告7段）

紙面内容：「みえ森と緑の県民税」の概要や取組の紹介
「森林環境譲与税」との棲み分け

③TVer（ティーバー）でのCM配信（15秒）

配信期間：令和5年7月21日～8月20日

配信内容：「みえ森と緑の県民税のPR動画（令和3年度作成）」を配信

表示回数：177,869回 完全視聴数：170,109回（完全視聴率96%）

④アウトドアイベントでの情報発信

イベント名：住まいと暮らしの総合フェア2023

開催日：令和5年10月14日（土）、15日（日）

場所：四日市ドーム

主催：中日新聞社

来場者数：14日（土）4,125名、15日（日）5,406名、合計9,531名

内容：

●PRブース出展

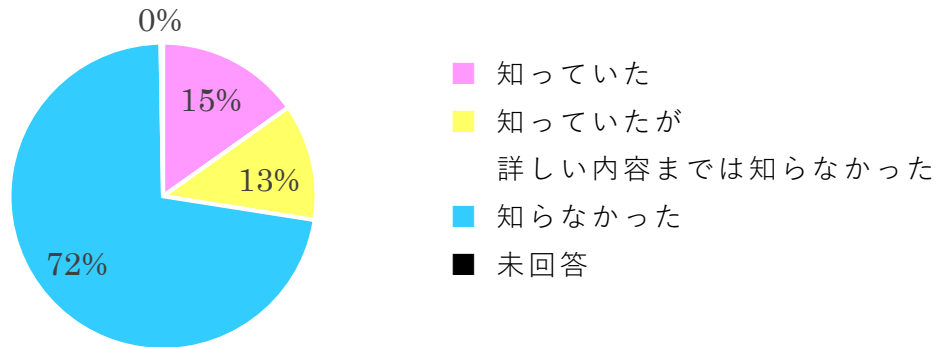
- ・木のボールプール体験、「みえ森と緑の県民税」を紹介するパネル展示、チラシ等の普及啓発物品配布、アンケート調査の実施

●ステージイベント

- ・オリジナル啓発ラジオ番組の連動イベントとして、FM三重女性パーソナリティによる「みえ森と緑の探検隊トークショー」を実施

アンケート結果：

- ・「みえ森と緑の県民税」の認知度は約28%（回答数合計382）



- ・自由意見

→知らない税の存在を知ることができ勉強になりました。もりぼーる、木のぬくもりを感じることでよかったです。
→県民に身近で見えるかたちでもっとアピールして下さい。



ステージイベント



ブース出展

- ⑤自然体験施設での情報発信

時期：令和5年7月下旬から

内容：FM三重オリジナル啓発番組とコラボしたうちわを制作し、県内のキャンプ場など自然体験施設へ配布



- ⑥ジオフィールドを活用した情報発信

時期：令和5年7月21日から1カ月

内容：位置情報を活用し、キャンプ場などの自然体験施設やアウトドアショップを訪れた方へ啓発CMを配信しました。

表示回数：198,657回 完全視聴数：68,942回（完全視聴率34.7%）

⑦ 県政だよりみえでの発信

時期：令和 5 年 12 月号

内容：「みえ森と緑の県民税」と「森林環境譲与税」を有効活用した三重の森林づくりについて紹介

三重の森林づくりのために、「みえ森と緑の県民税」と「森林環境譲与税」を、それぞれの使途で県・市町が有効に活用しています！

県の面積の3分の2を占める森林は、木材生産だけでなく、水を貯える、地球温暖化を防ぐ、山崩れや洪水を防止するなど、私たちの生活に欠かせない大切な役割を果たしています。

県では、皆さんに納めていただいた「みえ森と緑の県民税」と国から譲与された「森林環境譲与税」を、それぞれ使途や目的を区分して活用し、森林づくりを進めています。

「みえ森と緑の県民税」(県税)とは？

平成26年度から、県が独自に徴収している税金です。税収は、県と市町が、災害発生リスクを軽減するための「災害に強い森林づくり」と、森林づくりを将来に引き継いでいくための「県民全体で森林を支える社会づくり」に活用しています。

「みえ森と緑の県民税」の活用例

森林整備

災害に強い森林づくり

- 渓流沿いの危険木の除去や周辺の森林整備
- 電線などのライフライン周辺や人家裏・通学路沿いの危険木の伐採など



人材育成

森を育む人づくり

- 森林教育の指導者養成や森林教育活動の推進
- 森林づくりボランティアなどの育成など



普及啓発

森と人をつなぐ学びの場づくり

- 森林や木材について学び・ふれあう森林教育を実施するための環境整備など



■令和6年度から、第3期(5年間)が始まります

みえ森と緑の県民税は、県民税均等割に上乗せする形で、個人の方は年額千円、法人は年額2千円から8万円(県民税均等割額の10%相当額)を納めていただく県税です。



問い合わせ先 農林水産部 みどり共生推進課

☎059・224・2513 ☎059・224・2070 ✉midori@pref.mie.lg.jp

「森林環境譲与税」(国税)とは？

令和元年度から、全国の市町村と都道府県に国から譲与されている税金です。市町村では、間伐や林業の担い手の確保、木材利用の促進といった「森林整備の促進」などに、都道府県では「市町村の取り組みへの支援」などに活用しています。

「森林環境譲与税」の活用例

森林整備

森林所有者による管理が見込めない(林業経営に適さない)森林の整備

- 森林経営管理制度に基づく森林整備など



人材育成

林業の担い手の確保・育成

- 就業相談会や林業現場におけるインターンシップを通じた林業人材の確保
- 「みえ森林・林業アカデミー」における林業人材の育成など



木材利用

公共建築物の木造・木質化

- 地域材を利用した公共建築物などの木造・木質化、木製品の導入など



■令和6年度から、「森林環境税」が課税されます

森林環境税は、個人住民税均等割と併せて、個人の方に年額千円を納めていただく国税です。その税収の全額が「森林環境譲与税」として市町村・都道府県へ譲与されるようになります。



問い合わせ先 農林水産部 森林・林業経営課

☎059・224・2564 ☎059・224・2070 ✉shinrin@pref.mie.lg.jp

記事

国民、県民一人ひとりが支える、三重の森林づくり

「森林環境税」と「森林環境譲与税」の仕組み



県政だよりみえ 12月号

⑧各市町広報誌への折込及び自治会回覧板での情報発信

市町名	周知方法	配布・回覧時期	部数
いなべ市	広報折込	1月	12,900
木曽岬町	広報折込	1月	2,100
東員町	広報折込	2月	9,759
多気町	回覧	12月	4,863
大台町	広報折込	1月	4,000
明和町	回覧	12月	777
鳥羽市	広報折込	1月	6,500
志摩市	回覧	12月	2,492
伊賀市	回覧	12月	3,813
紀宝町	広報折込	12月	5,600

⑨CBCテレビ“よしお兄さんの「みえ推し！」”での発信

放送日：令和5年10月18日（水）

放送内容：「県民全体で森林を支える社会づくり」として、みえ森林教育ステーションで、子どもたちが木や緑に触れる木育活動を紹介



[番組ホームページ](#)

2-4) パネル展示等による広報

県施設等において、みえ森と緑の県民税 P R のためのパネル展示を行うとともに、アンケート調査をしています。

【パネル展示の実施状況】

所属	期間	場所
四日市農林事務所	R6.1.15～R6.1.29	四日市庁舎 1 階県民ホール
津農林水産事務所	R6.1.17～R6.1.31	津庁舎 1 階ロビー
	R6.2.15～R6.3.29	津市白山庁舎
松阪農林事務所	R6.2.2～R6.2.15	松阪庁舎 1 階ロビー
伊勢農林水産事務所	通年	伊勢庁舎 2 階ロビー
	R5.10.2～R5.10.31	伊勢庁舎 1 階ロビー
伊賀農林事務所	R5.8.1～R5.8.31 R6.1.15～R6.2.15	伊賀庁舎 2 階県民ホール
	R5.10.24 R6.2.20	マルタピア（原木市場）
	R6.3.1～R6.3.15	名張市役所
尾鷲農林水産事務所	R5.7.5～R5.8.2	尾鷲庁舎 1 階県民ホール
熊野農林事務所	R5.9.9～R5.9.10 R6.2.1～R6.2.7	熊野市文化交流センター
	R5.9.24 R6.3.20	熊野原木市場
	R6.2.7～R6.2.14	御浜町役場ホール
林業研究所	R5.11.25	森林・林業アカデミー棟 エントランス
みどり共生推進課	R5.6.19～R5.6.23	本庁 1 階県民ホール
	R5.12.1～R5.12.28	県立図書館



本庁県民ホールにおけるパネル展示の様子



県立図書館におけるパネル展示の様子



県尾鷲庁舎におけるパネル展示の様子

2-5) 木材利用の意義や効果等についての情報発信

「木材利用と森林づくりのつながり」に対する理解促進のため、木材利用の意義や効果を県民に分かりやすく紹介するパンフレットをイベントや三重県「木づかい宣言」事業者の店舗等で配布し情報発信を行いました。

また、木製品の製作や林内を実際に歩くことで、森林や木材を身近に感じられる、体験型のツアーを開催し、森林の大切さや木材利用の意義をPRしました。



パンフレット配布 1 県立図書館



パンフレット配布 2 木づかい宣言事業者



体験型ツアー 1 県民税の紹介



体験型ツアー 2 林内散策

3) 「みえ森と緑の県民税」の認知度

3-1) e-モニター制度の活用

e-モニター制度を活用し、みえ森と緑の県民税にかかるアンケート調査を実施しました。調査結果は、ホームページで公表しています。

【みえ森と緑の県民税に関するアンケート】

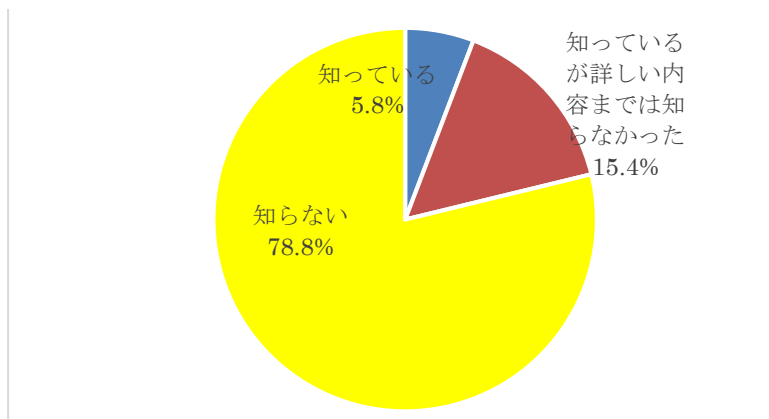
- 1 実施期間 令和5年7月26日から8月1日まで
- 2 回答数 1,000名（民間リサーチ会社が抱える県内の顧客）
- 3 設問内容と回答結果

三重県では平成26年から「みえ森と緑の県民税」を導入し、個人は年額1,000円、法人は資本金額に応じた県民税均等割の10%相当額（年額2,000円～80,000円）を納めていただいています。

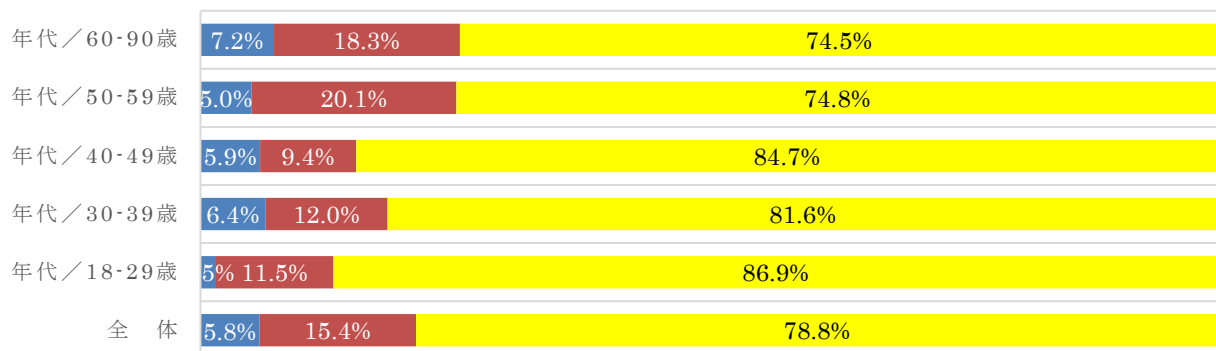
この「みえ森と緑の県民税」を活用して、県が災害緩衝林整備事業等の災害に強い森林づくりに取り組むとともに、市町が人家裏や通学路沿いの暮らしに身近な危険木の伐採、教育現場への木製備品の導入等地域に密着した取組を行っています。

あなたは、「みえ森と緑の県民税」をご存じですか。

「みえ森と緑の県民税」の認知度：全体割合（％）



「みえ森と緑の県民税」の認知度：年代別回答割合



■ 知っている ■ 知っているが詳しい内容までは知らなかった ■ 知らない